

# 富富富 特報

## 1. JA みな穂管内の生育状況(7/6現在)

- ・本年産は、平年に比べ、草丈はやや短く、m<sup>2</sup>当たり茎数は少なめ、葉令の展開は遅れています。幼穂形成期は7/15頃の見込みです。

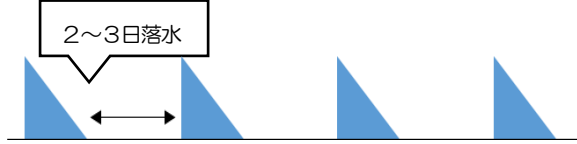
	田植日	草丈	茎数	葉令	葉色	幼穂形成期
R03 (本年)	5/16	50.8cm	587本/m <sup>2</sup>	10.9	4.1	7/15
R02 (前年)	5/15	55.3cm	600本/m <sup>2</sup>	11.3	4.2	7/15
平年	5/16	52.2cm	633本/m <sup>2</sup>	11.1	4.3	7/14

## 2. 今後の管理

### (1) 水管理

- ① 幼穂形成期まで：間断かん水（落水期間を長めにする）を行いましょよう。
- ② 幼穂形成期以降：葉色に応じて水管理の方法を変えましょよう。

○葉色が4.0より濃い場合 → 間断かん水



○葉色が4.0以下の場合 → 飽水管理※



### (2) 穂肥

※ほ場内の足跡に水が残る程度の湿潤状態を維持

### (ア) 分施肥系の場合

- 1回目：幼穂形成期の7日後頃(幼穂長1.5cm程度) 追肥3号 5~7kg/10a
- 2回目：1回目の5~7日後 追肥3号 10kg/10a

### (イ) 一発肥料の場合

- 原則として追加穂肥は施用しないでください。
- ただし、幼穂形成期の14日後(7/29頃)の葉色が4.2未満の場合は、出穂3日前までに、追肥3号5~7kg/10a施用しましょよう。

葉色が濃い場合、無理に追加穂肥を施用すると食味が低下するだけで収量は高まりません。

### (2) 防除(成分数)・・・農薬の成分使用回数12以内を厳守してください

防除時期	出穂直前(1回目)	穂揃期(2回目)
	10a当たりの散布量	10a当たりの散布量
粉剤体系	モンラプトレボンF粉剤DL (3成分)	キラップ粉剤DL (1成分)
	4kg/10a(収穫14日前まで)	4kg/10a(収穫14日前まで)
液剤体系	スタークル液剤10+モンカットフロアブル (2成分)	ラブサイドキラップフロアブル (2成分)
	1000倍+1000倍/100~150ℓ (収穫14日前まで)	500倍/150ℓ (収穫14日前まで)
ラジハリ体系※ (ドローン防除)	スタークル液剤10+モンカットフロアブル (2成分)	ラブサイドキラップフロアブル (2成分)
	8倍+8倍/0.8ℓ(収穫14日前まで)	4倍/0.8ℓ(収穫14日前まで)

※ラジハリ防除は、コシヒカリと同時の防除を予定。